


2008年2月期 中間決算説明会

PRIME
POCKET
ONLY ONE



クレジットカードサービスを創造する
CREATING CREDIT CARD SERVICES

 **ポケットカード** 株式会社

上期業績

2007年8月期 業績ハイライト

収入面は堅調に推移したものの、利息返還関連費用の増加により利益段階では前年同期比マイナス

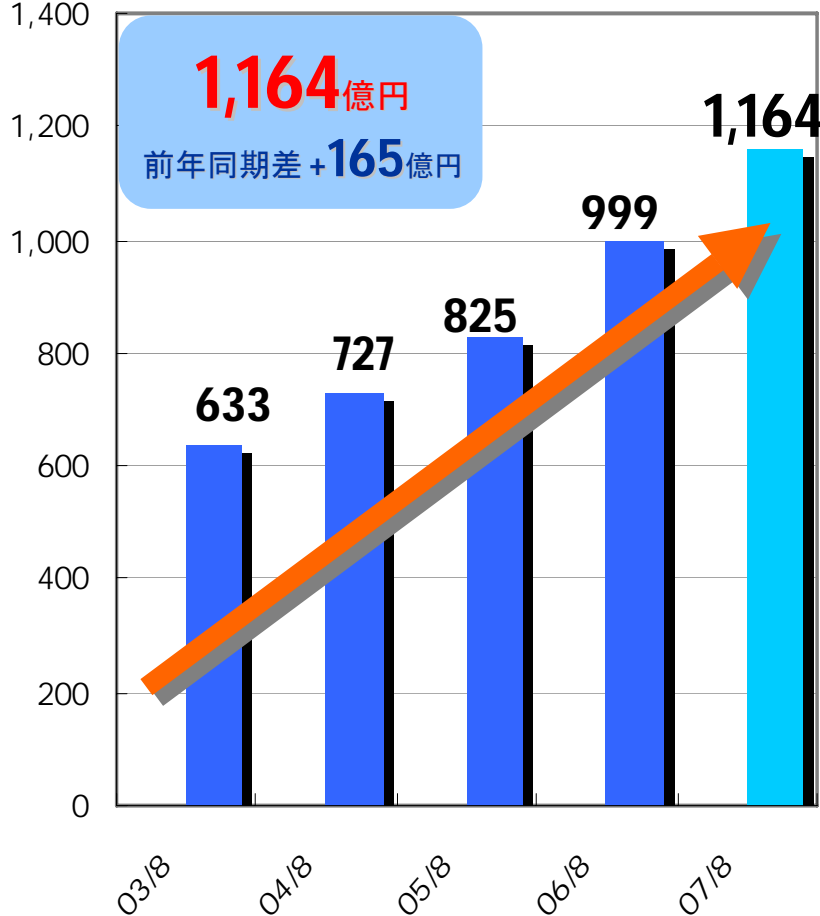
| | 07年8月期 | 前年同期比 | 期初公表数値 | 9/28 修正公表数値 |
|-------|-------------------|---------------|-------------------|-------------------|
| 営業収益 | 20,253 百万円 | 5.5% | 20,200 百万円 | 20,200 百万円 |
| 経常利益 | 2,550 百万円 | △43.8% | 3,100 百万円 | 2,500 百万円 |
| 中間純利益 | 1,076 百万円 | △60.2% | 1,400 百万円 | 1,000 百万円 |

割賦購入あっせん部門

取扱高が中間期としては初めて1,000億円の大台を突破
リボ残高も前年同期差+48億円の増加

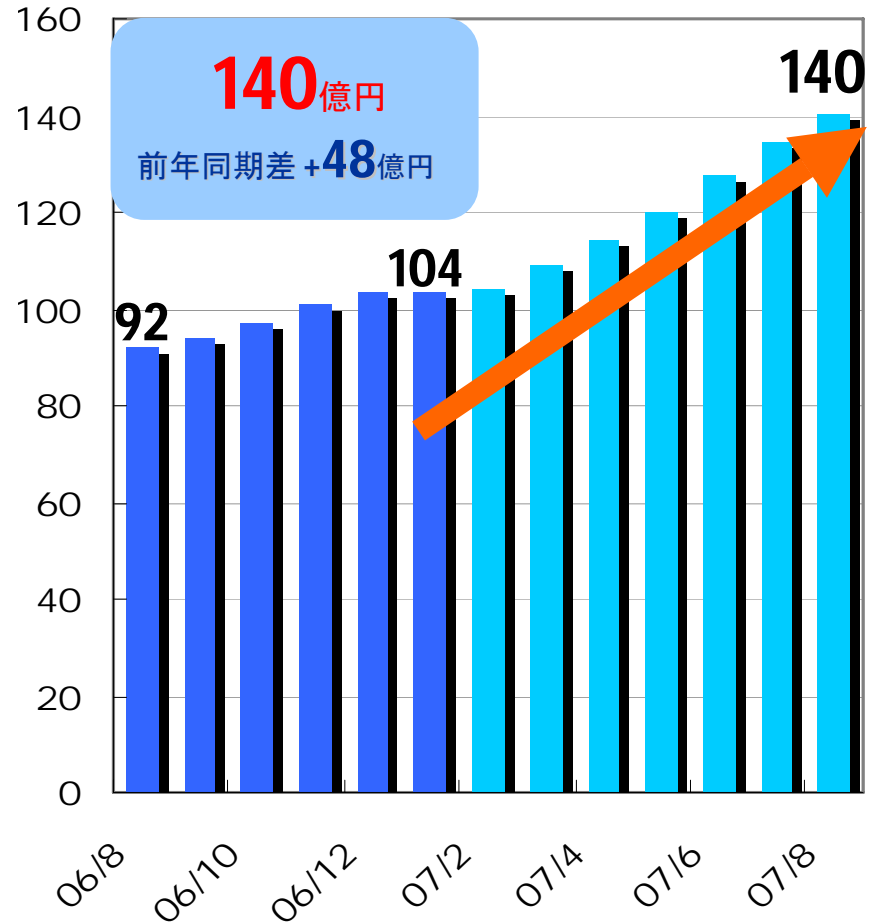
割賦購入あっせん取扱高推移

単位: 億円

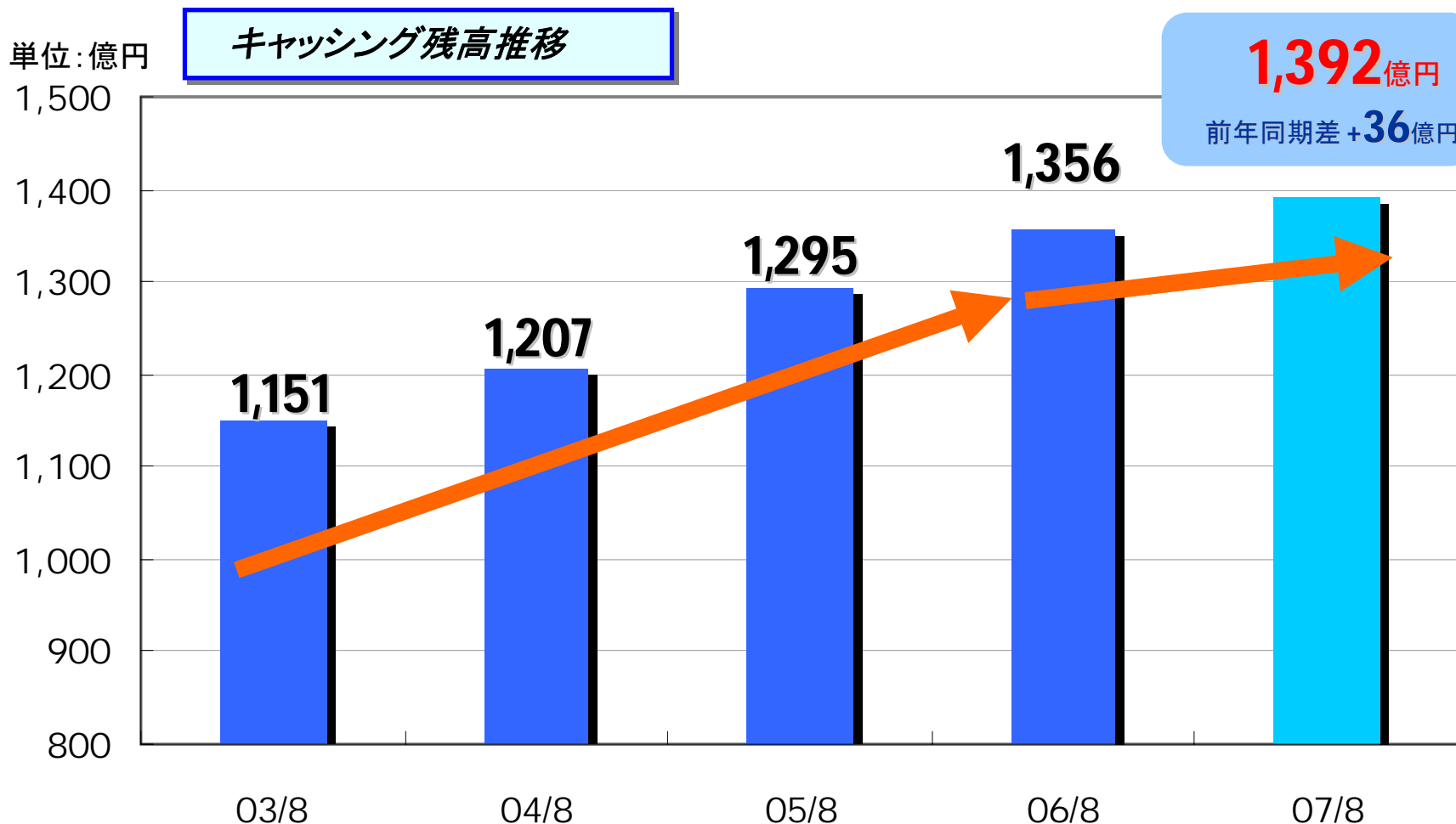


ショッピングリボ残高推移

単位: 億円



貸金業法改正に伴う与信の厳格運用の実施と
機動的な与信施策・戦略の推進による残高の維持を両立



営業収益推移

ショッピング、キャッシング共にトップラインは堅調に推移

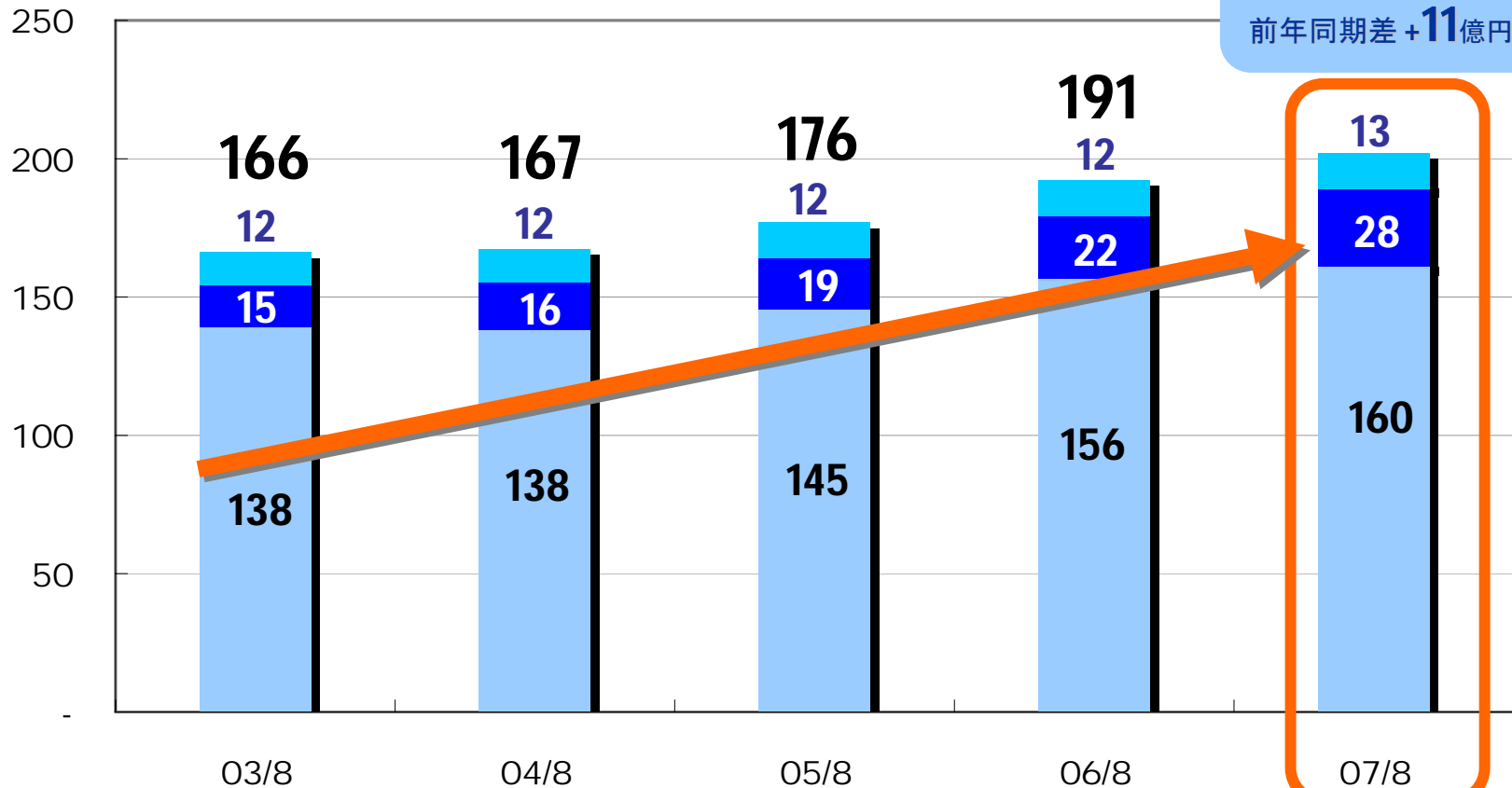
営業収益推移

単位: 億円

■ 融資

■ 割賦購入あつせん

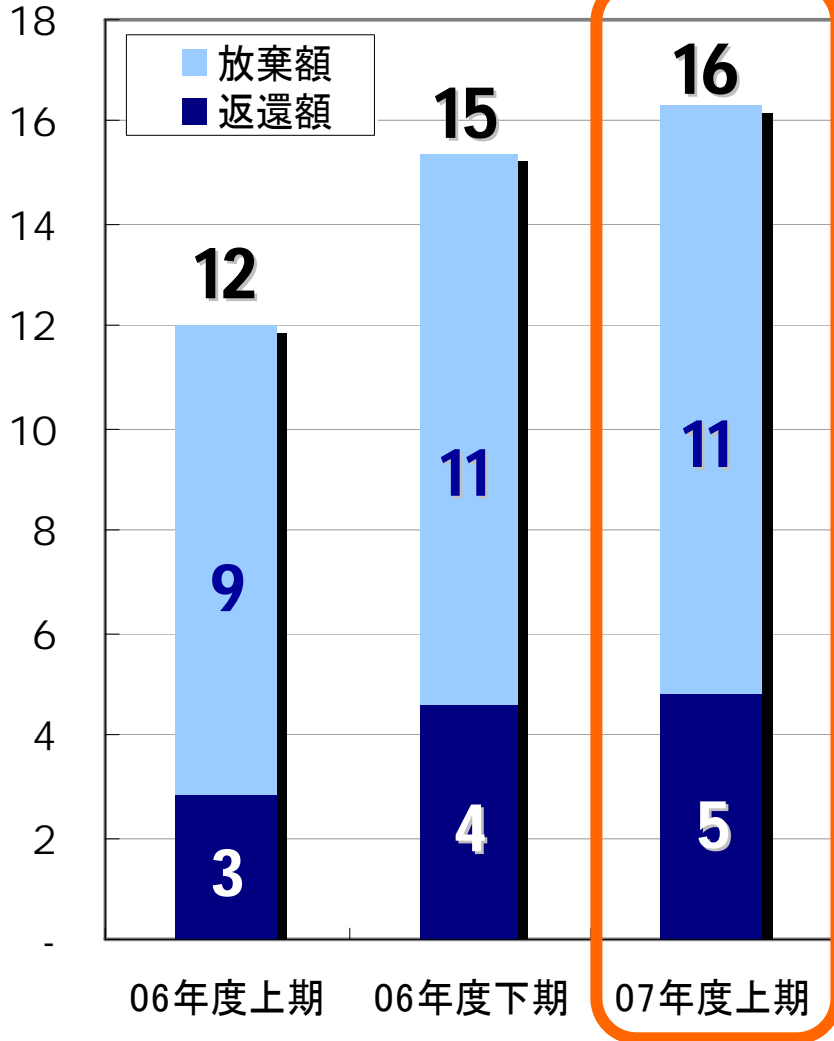
■ その他



利息返還関連費用

利息返還関連費用

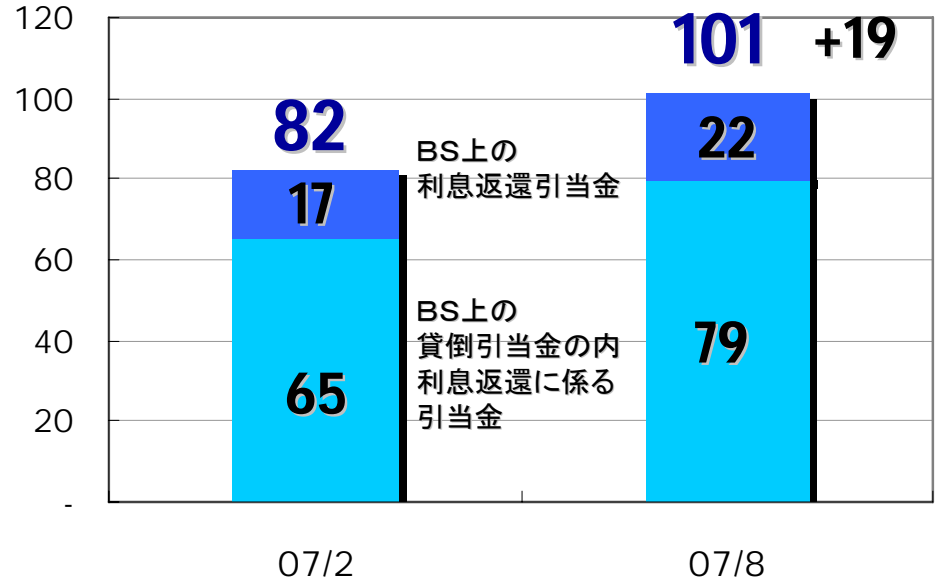
単位: 億円



利息返還引当金状況

単位: 億円

前期末差



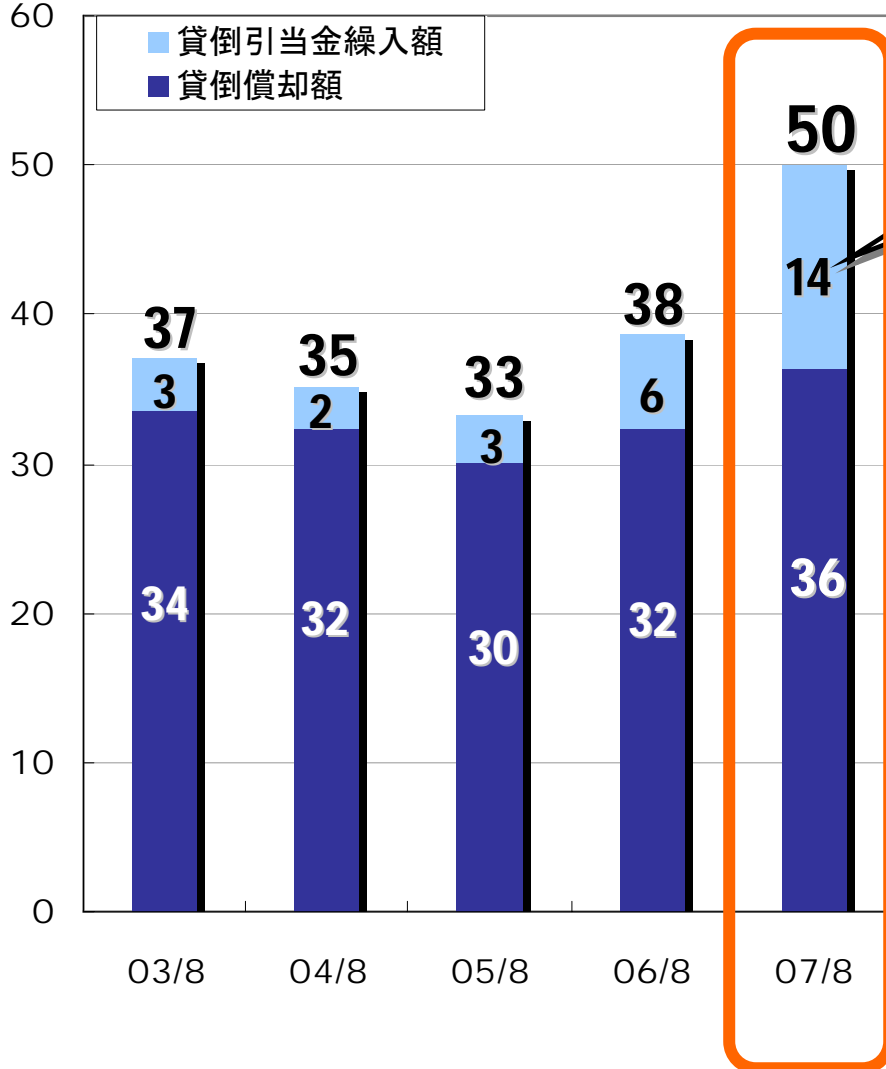
単位: 億円

| | 06年度 上期 | 06年度 下期 | 07年度 上期 |
|-----------|------------|------------|------------|
| 返還額 | 2.8 | 4.6 | 4.8 |
| 放棄額 | 9.2 | 10.8 | 11.5 |
| 利息返還関連引当金 | 36.9 | 82.2 | 101.0 |

貸倒関連費用

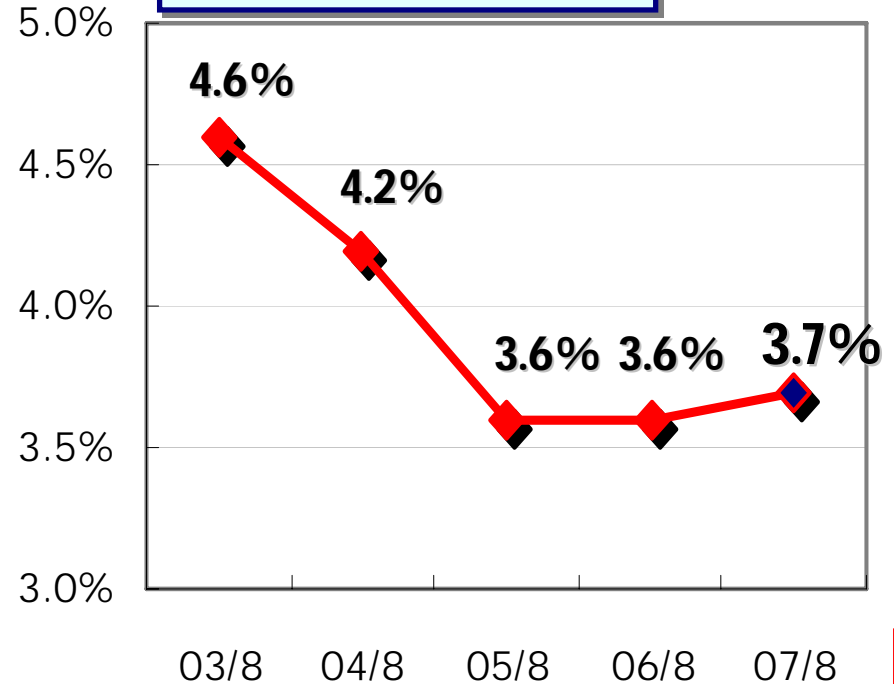
貸倒関連費用推移

単位: 億円



利息返還及び法的介入債権
への引当金繰入 +10億円

貸倒償却率推移

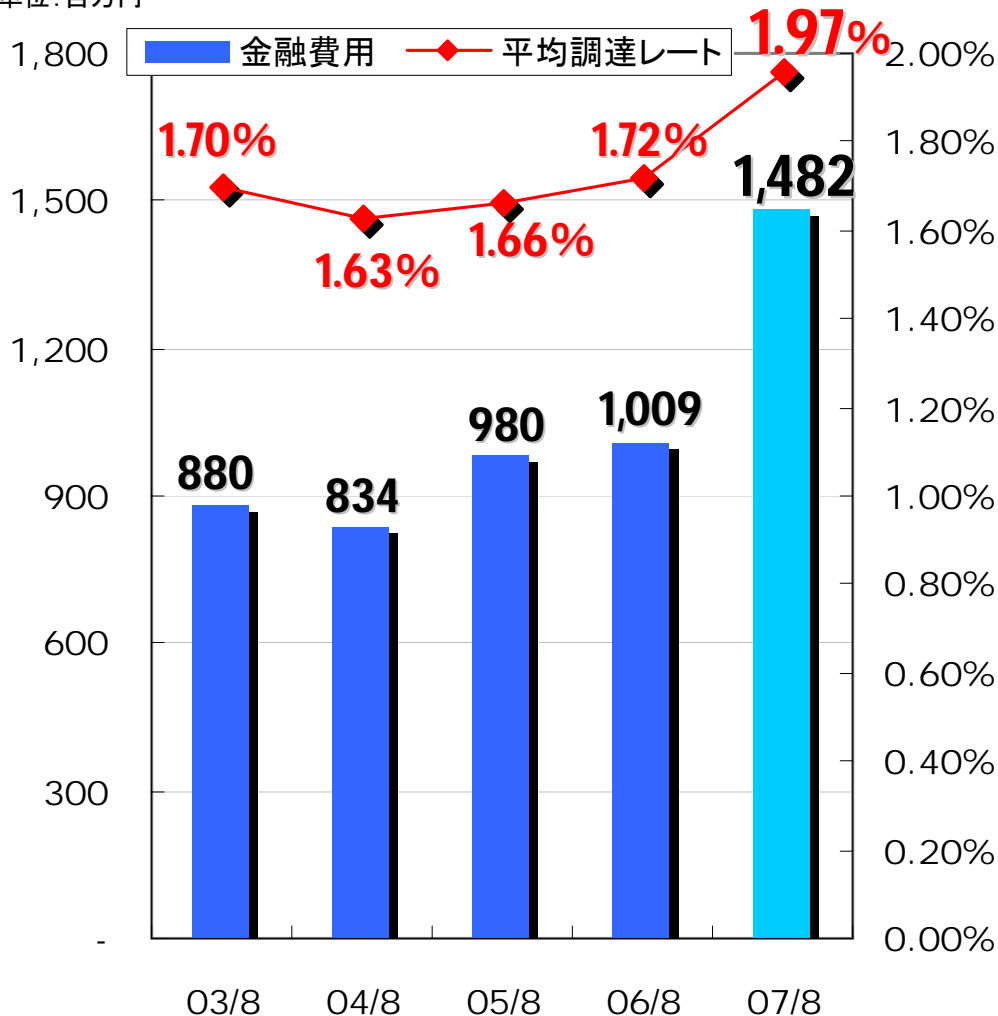


| | 07年8月期 | 前年同期差 |
|---------|---------------|----------------|
| 新規会員獲得 | 25 万件 | △ 6 万件 |
| 有効会員数 | 409 万人 | + 9 万人 |
| 利用会員数 | 139 万人 | + 1 万人 |
| 利用率（年間） | 34.5 % | △ 0.7 % |
| 月間利用率 | 18.5 % | + 1.0 % |

財務状況

金融費用・平均調達レート

単位:百万円



< 資金調達トピックス >

2007年7月

新規社債発行による調達

90億円

2007年3月～8月

新規取引銀行による調達

73億円

下期経営方針

通期業績予想の下方修正

<修正の内容>

単位：百万円

| | 営業収益 | 経常利益 | 当期純利益 | 期末配当予想 |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 40,300 | 5,700 | 2,800 | 8.5円 |
| 今回修正予想 (B) | 40,100 | 3,100 | 1,200 | 4.25円 |
| 増減額 (B-A) | △200 | △2,600 | △1,600 | △4.25円 |
| 増減率 | △0.5% | △45.6% | △57.1% | — |

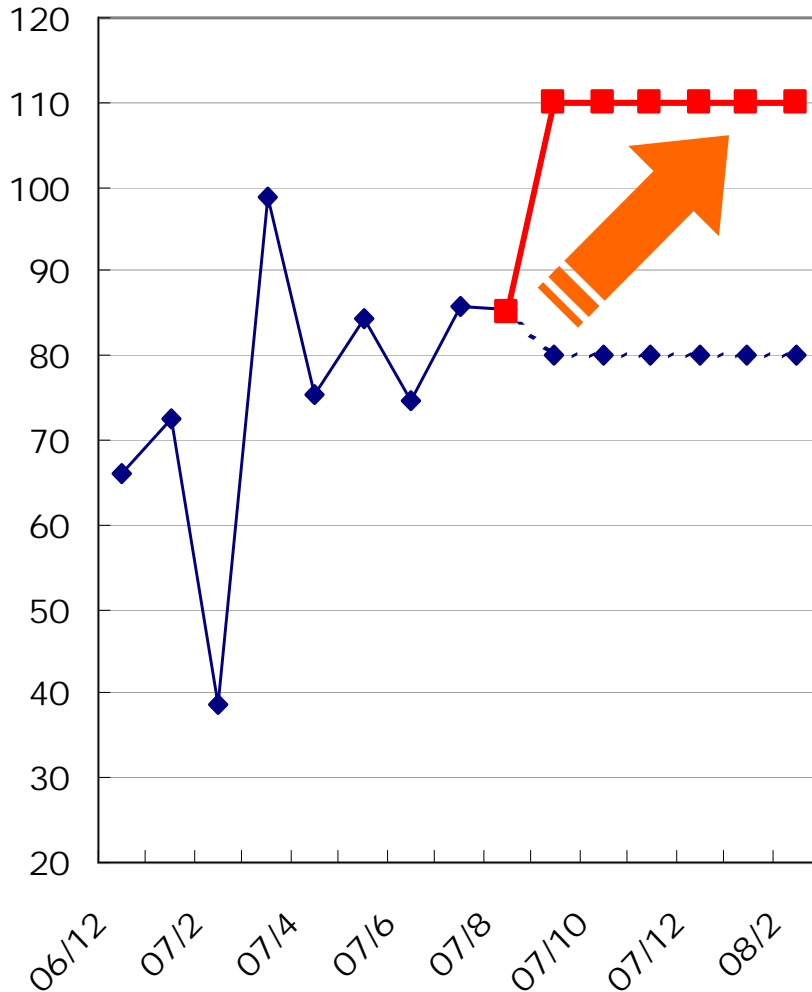
< 期初計画差異要因 >

- ・ 与信厳格化に伴う融資収益の減少 △2億円
- ・ 利息返還請求及び貸倒関連費用の増加 △18億円
- ・ プロセッシング事業への投資等費用 △6億円

下期利息返還請求の見通し

利息返還額見込み

単位: 百万円

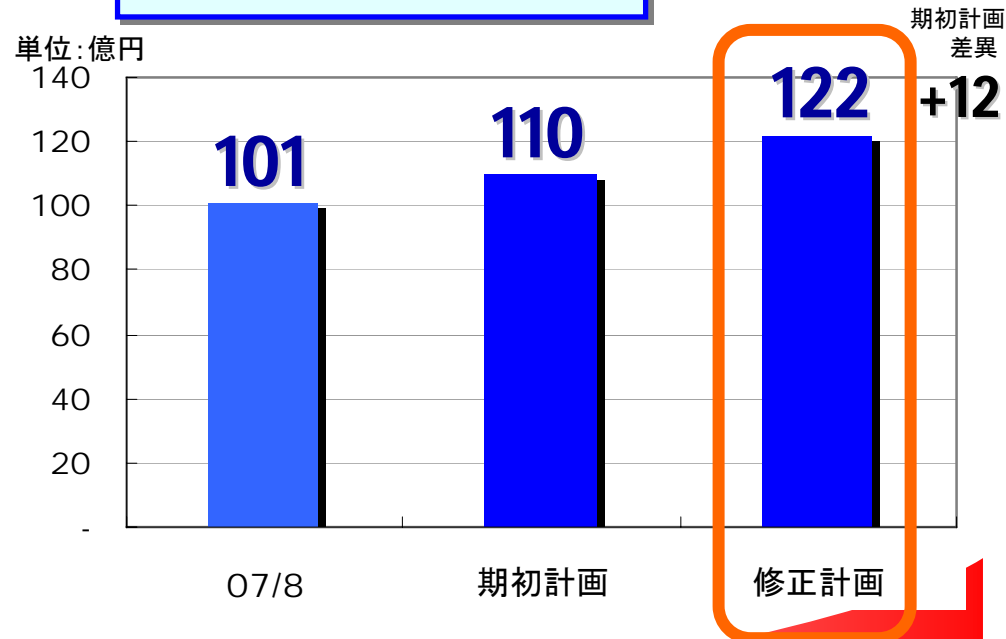


単位: 億円

| | | 期初計画 | 修正計画 | 差異 |
|--------|----|-------|-------|-------|
| 返還額見込 | 月間 | 0.8 | 1.1 | +0.3 |
| | 下期 | 4.8 | 6.6 | +1.8 |
| 引当金繰入額 | | 9.3 | 21.1 | +11.8 |
| 引当金残高 | | 110.3 | 122.1 | +11.8 |

利息返還引当金見込み

単位: 億円

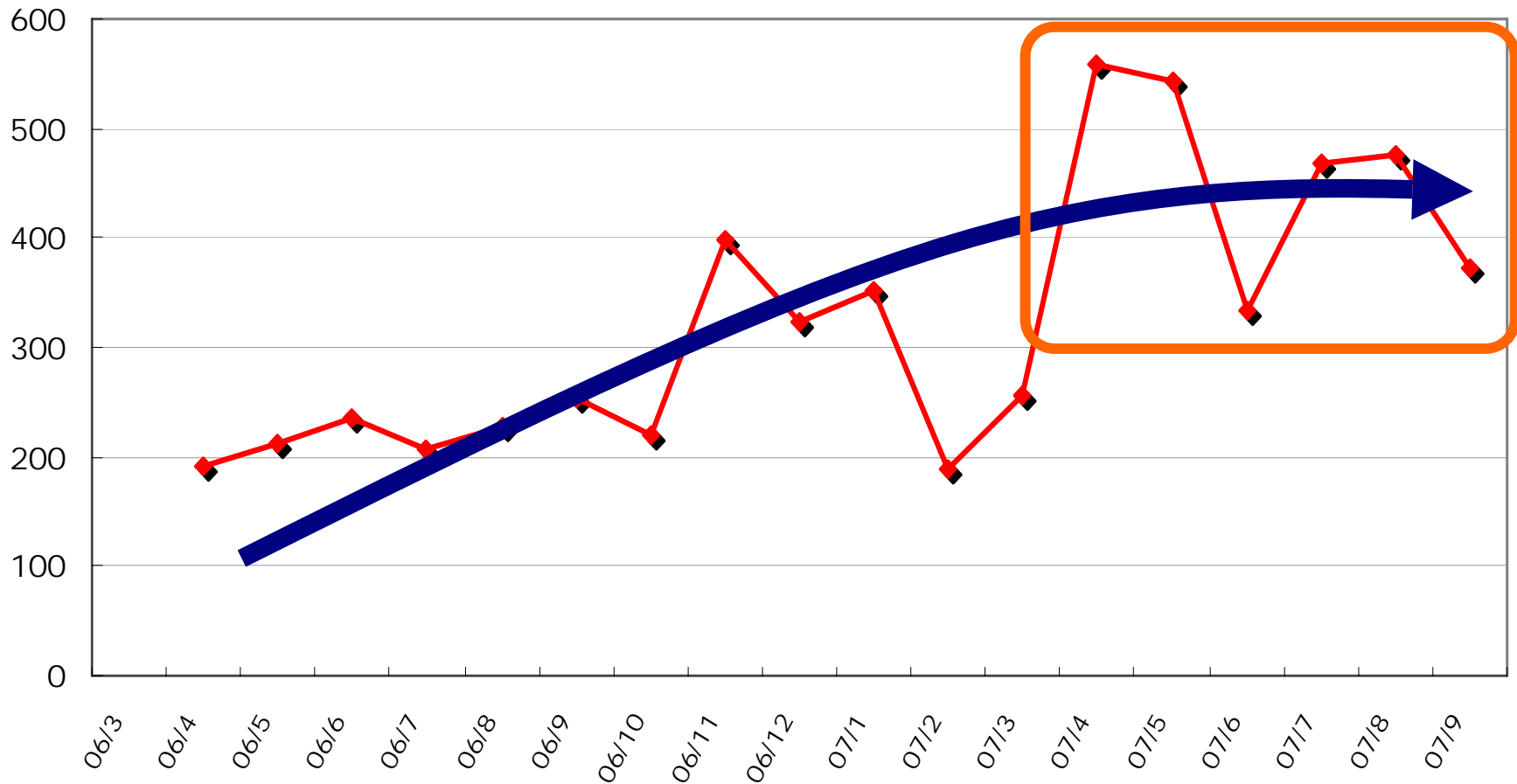


利息返還請求状況

利息返還請求の発生件数は横ばい圏へ

単位:件

利息返還請求月次推移

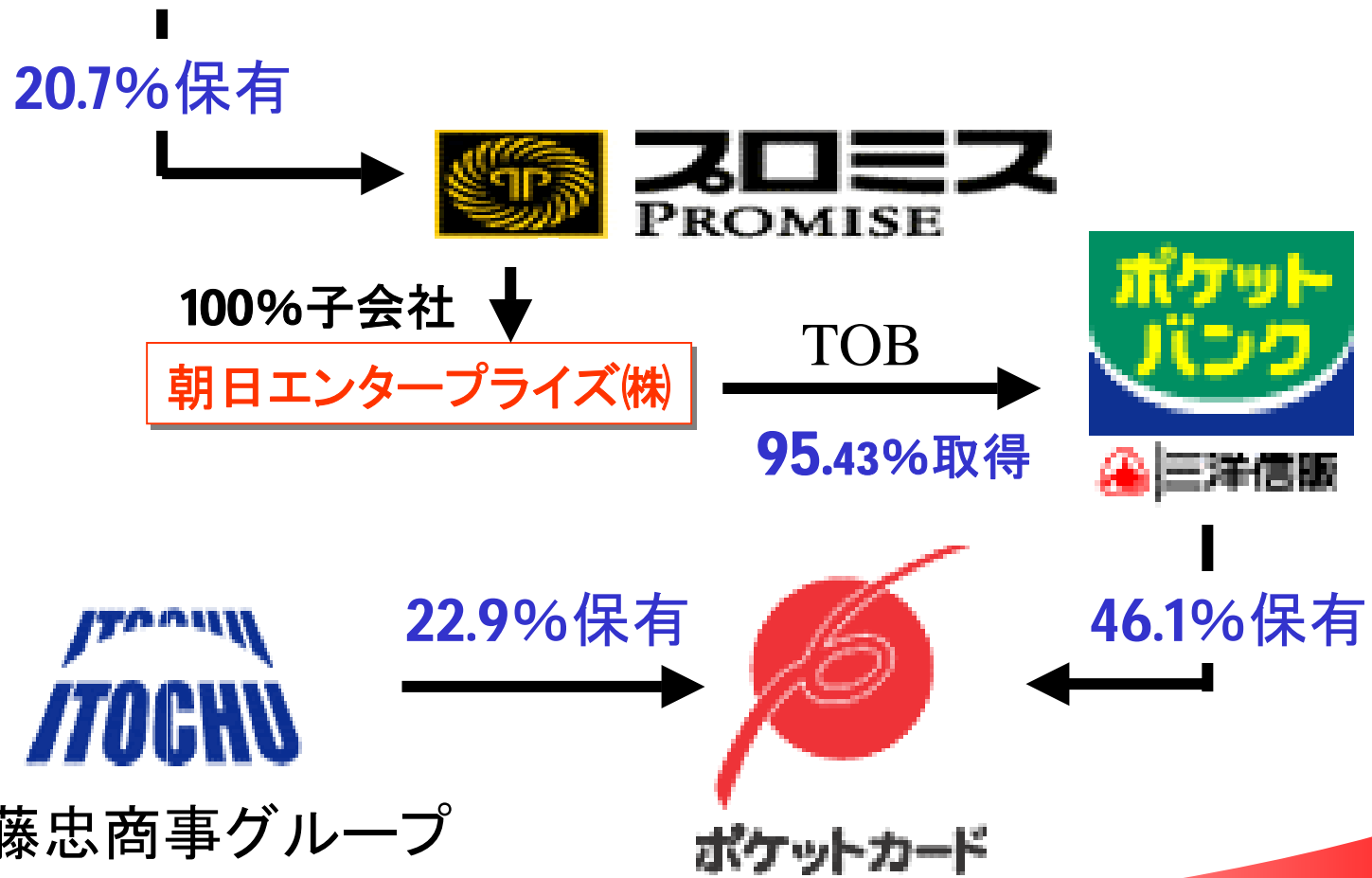


2007年度下期 ビジネスモデル変革プラン

1. プロミス社とのシナジーの検討
2. 収益構造の改革
 - ・ 上限金利引下げ対応
 - ・ 与信戦略
 - ・ ファイナンスデスク新設
 - ・ 新型ローン商品
 - ・ ショッピングリボ
3. FMCプロセッシング業務スタート

プロミスと三洋信販の経営統合による資本関係

三井住友銀行グループ



プロミス社とのシナジー効果を検討

クレジットカードとの親和性、シナジーの可能性を今後本格的に模索



プロミスグループ企業例



プロミス
PROMISE



Do Financial Service

Indexcreate

カーコンビニ倶楽部

Car-ichi

上限金利引下げ対応

11月21日から、
新規分の貸付金利を18%以下に引き下げ

上限金利引下げ対応

◆ P-one Money (マネー)、
P-one Business (ビジネス) の拡大

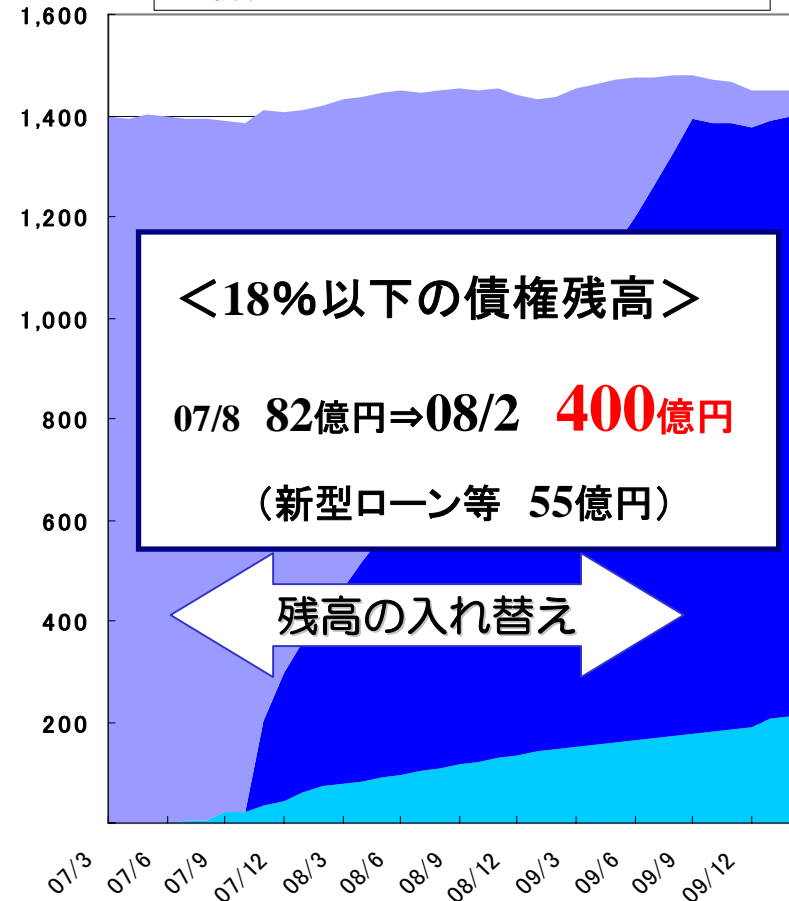
◆ 新型ローン商品の提供
 <Smart Loan (スマートローン)>
 (年利 16.0%)
 <Excellent Loan (イクセレントローン)>
 (年利 8.0-14.0%)

⇒ スピーディーな対応により
金利引下げの影響を最小化

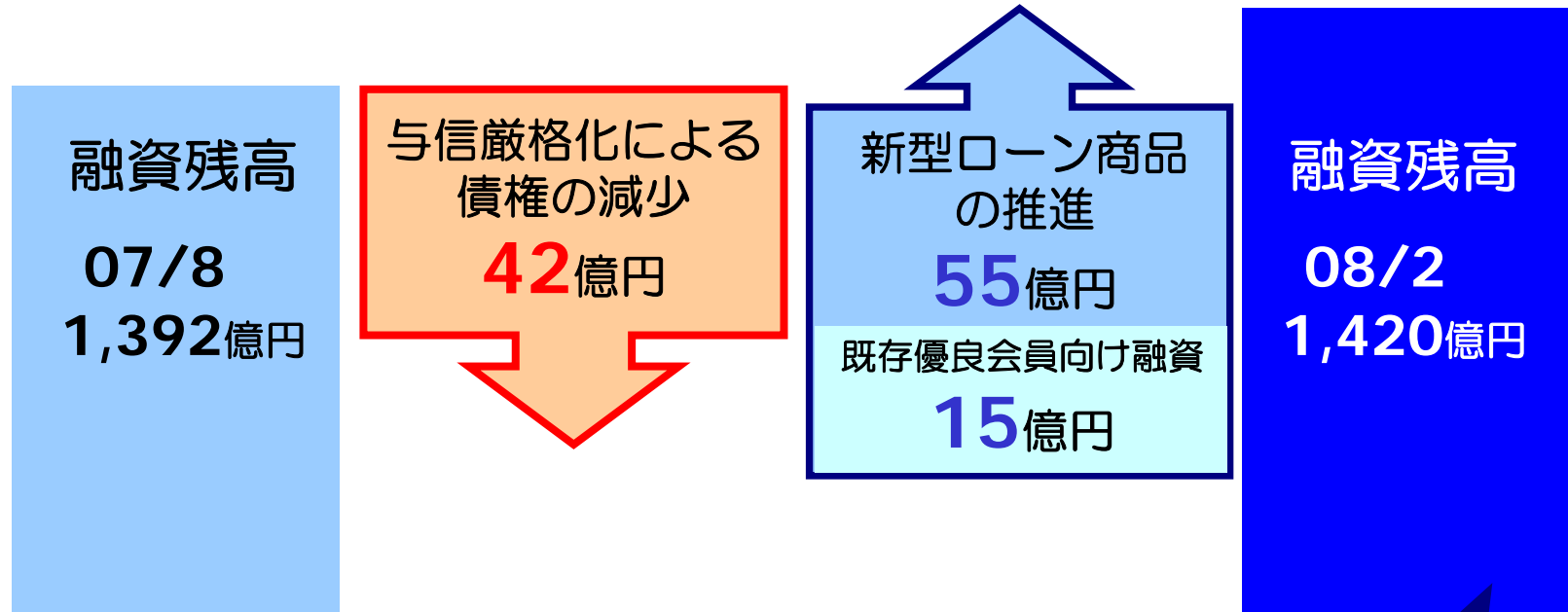
貸付金利移行イメージ

単位: 億円

■ 新商品等 ■ 18%以下 ■ 18%超



与信戦略方針



新型ローン商品の推進 (08/2期残高目標)

| | |
|-------------------|------|
| P-one Moneyカード | 21億円 |
| P-one Businessカード | 4億円 |

+

| | |
|-------------------------------|------|
| その他 新型ローン商品 (8.0-16.0%) | 30億円 |
|-------------------------------|------|

合計 55億円

競争力の戦略的向上を目指してーアウトバウンドの強化ー

キャッシング・ショッピングリボの収益機会の最大化

戦略的アウトバウンドアプローチ + ファイナンスニーズに対応したインバウンド

ファイナンスデスク

カード会員

アウトバウンド

- ・DMフォローアップコール
- ・セグメント別セールスプロモーションコール

インバウンド

- ・支払い方法の変更相談
- ・返済シミュレーション問合せ
- ・商品内容確認

あとリボ受付拡大

新型低金利ローン

振込キャッシング拡大

販促拡大

新たな金融商品の投入

アライアンスを基軸とした新たな金融商品の開発により、
高採算性の追求とポートフォリオの多様化を図る

ビジネスローン

- ・ 証書貸付形式による
- ・ 設備資金ローン投入
- ・ (P-one Business)

有担保ローン

- ・ 住宅周辺目的ローン

アライアンス
パートナー

総量規制エリア外
への進出
ピンチをチャンスに！

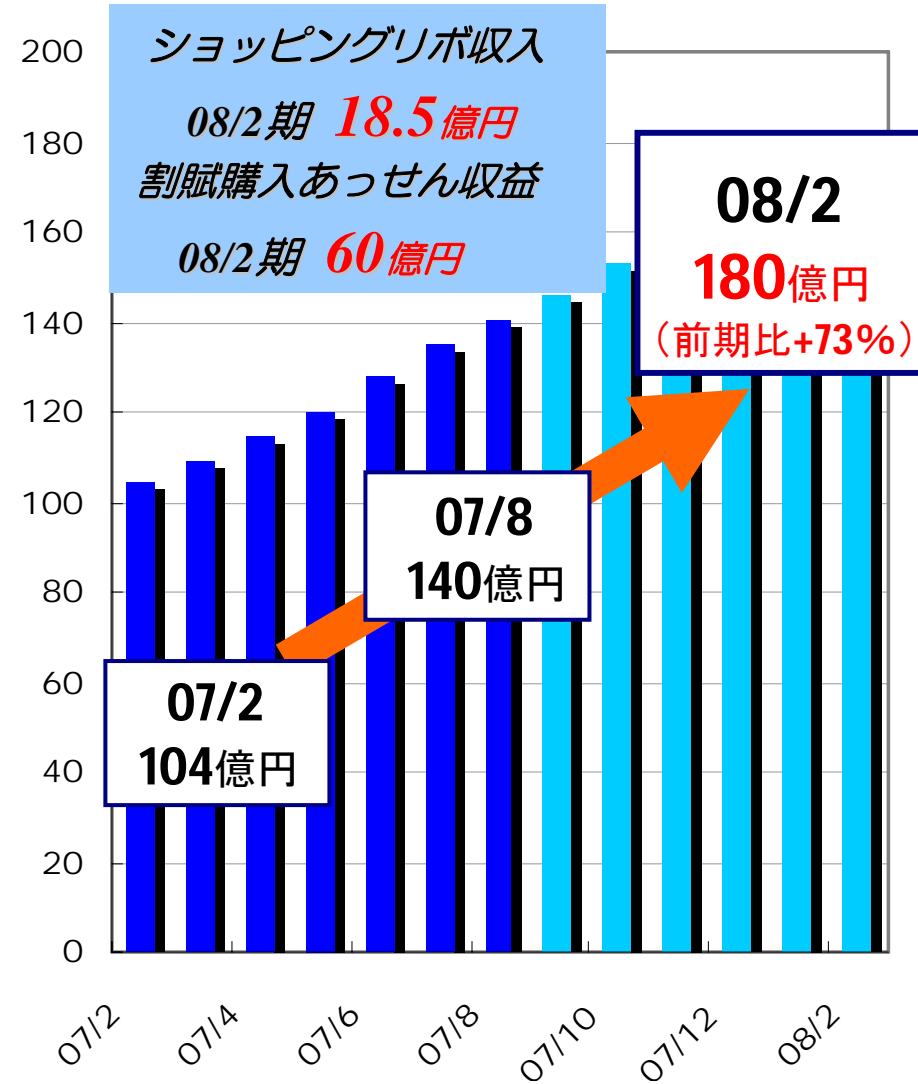
+

販促費・途上管理
費用等の極小化
高採算性の追求

ショッピングリボの拡大ー収益構造の改革ー

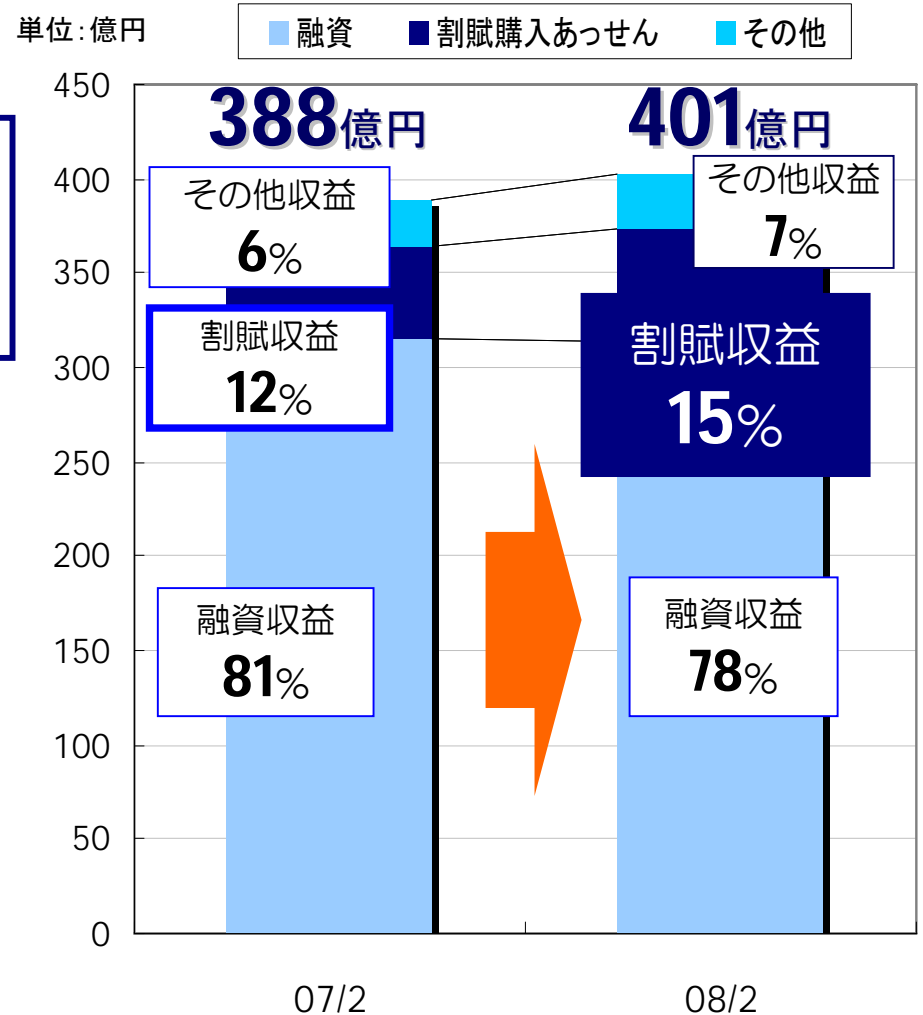
ショッピングリボ残高計画

単位:億円



収益内訳

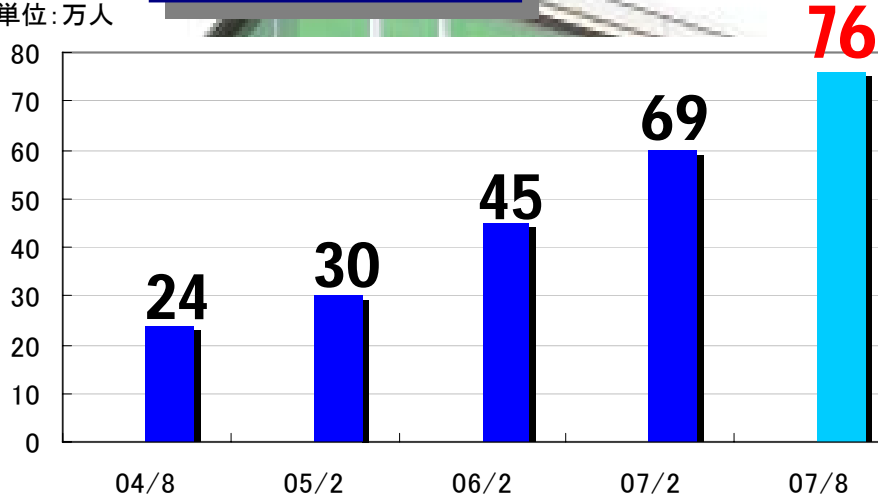
単位:億円



保証事業 -ファミマクレジット-

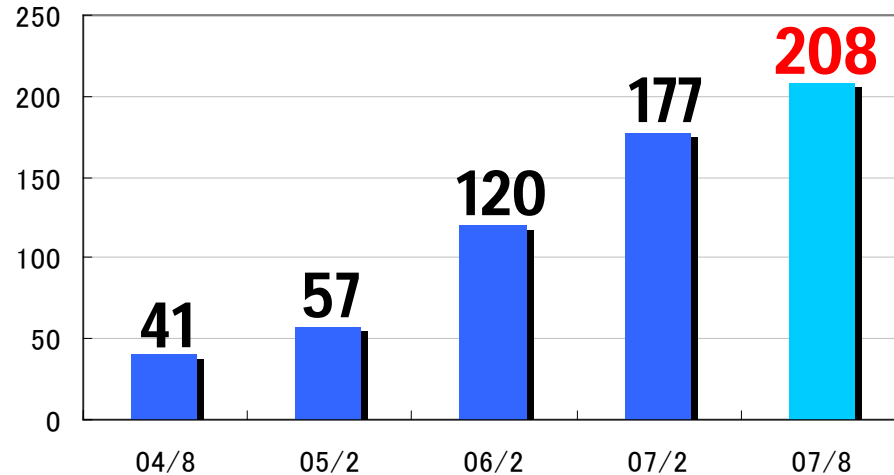
有効会員数推移

単位:万人

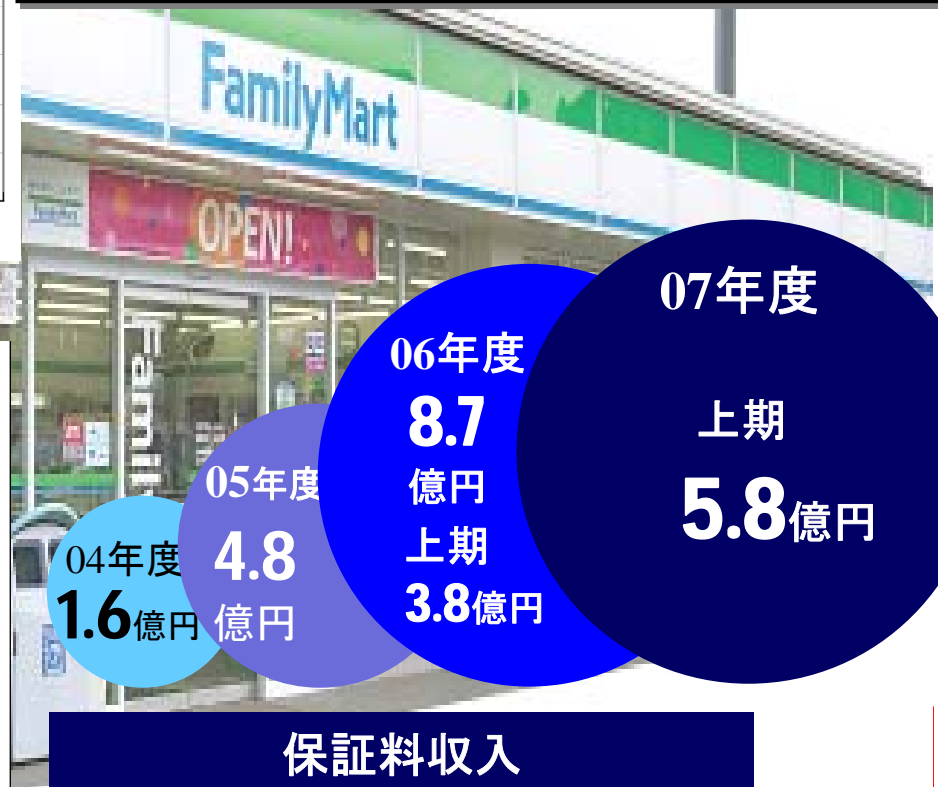


保証残高推移

単位:億円



保証事業においても貸金業法改正への対応が必要
⇒ファミマクレジットとの関係を強化し、
同社との事業のさらなる拡大を図る



保証料収入

ファミマクレジットとのプロセッシング業務の開始ー1

伊藤忠グループとのビジネス連携をさらに進化

プロセッシング事業の開始

- ◆ 11月から「ファミマTカード」のプロセッシング業務を開始
- ◆ ファミマでの会員獲得は今期50万規模の獲得を見込み

⇒ ビジネスモデル変革の大きな柱として今後事業を推進

ファミマクレジット



ファミリーマートでの
カード事業の強化



ファミリーマート



ファミマクレジットとのプロセッシング業務の開始 -2

FMCプロセッシングスキーム

<従来> 入会審査と延滞後の債権管理のみ



<07/11以降> 会員獲得、販促部分以外の全ての業務を当社が実施



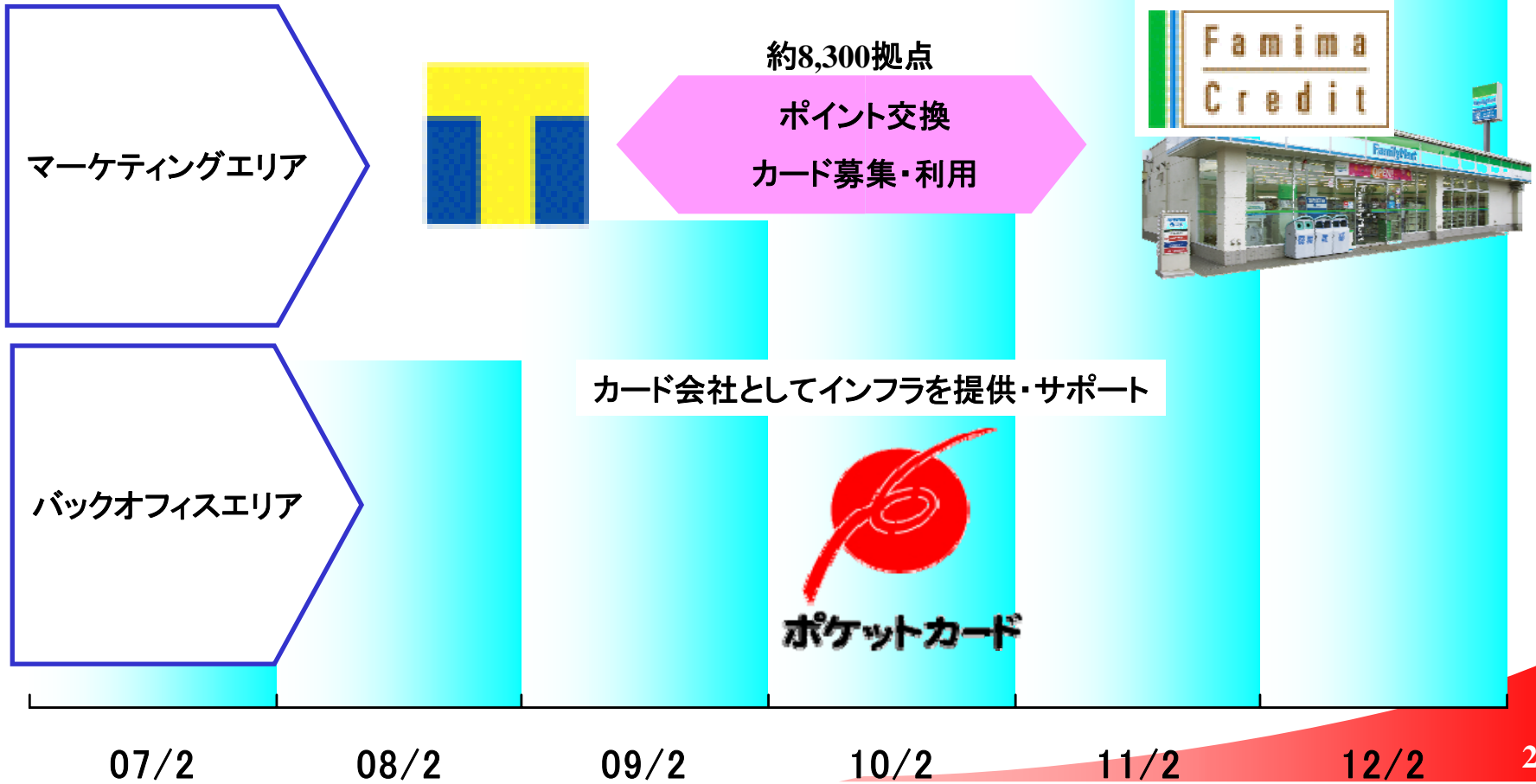
業務範囲が広がることにより、
ファミマクレジットでのビジネス規模が飛躍的に拡大

プロセッシング事業の収益見通し

08年度より毎年50万枚規模のカード発行を計画

5年間でプロセッシング事業収益は累計200億円を計画

巨大チャネル同士のシナジーでメガチャネル化へ



今期の経営計画の課題に対するスタンス

1. 貸金業法改正への対応

| | |
|---------|---|
| 上限金利引下げ | ・11月下旬より新規貸付分について利息制限法以下に一斉引下げ。 今期末で残高400億円を入替え。 |
| 総量規制 | ・下期は総量規制等を踏まえた与信の厳格化により債権ポートフォリオの適正化を進めていく。 |

2. 利息返還の見通し

| | |
|--------|--|
| 利息返還費用 | ・利息返還のピークは年度末。以後来期上期までは高原状態が継続、その後緩やかな減少を前提。 |
|--------|--|

3. 収益計画の見通し

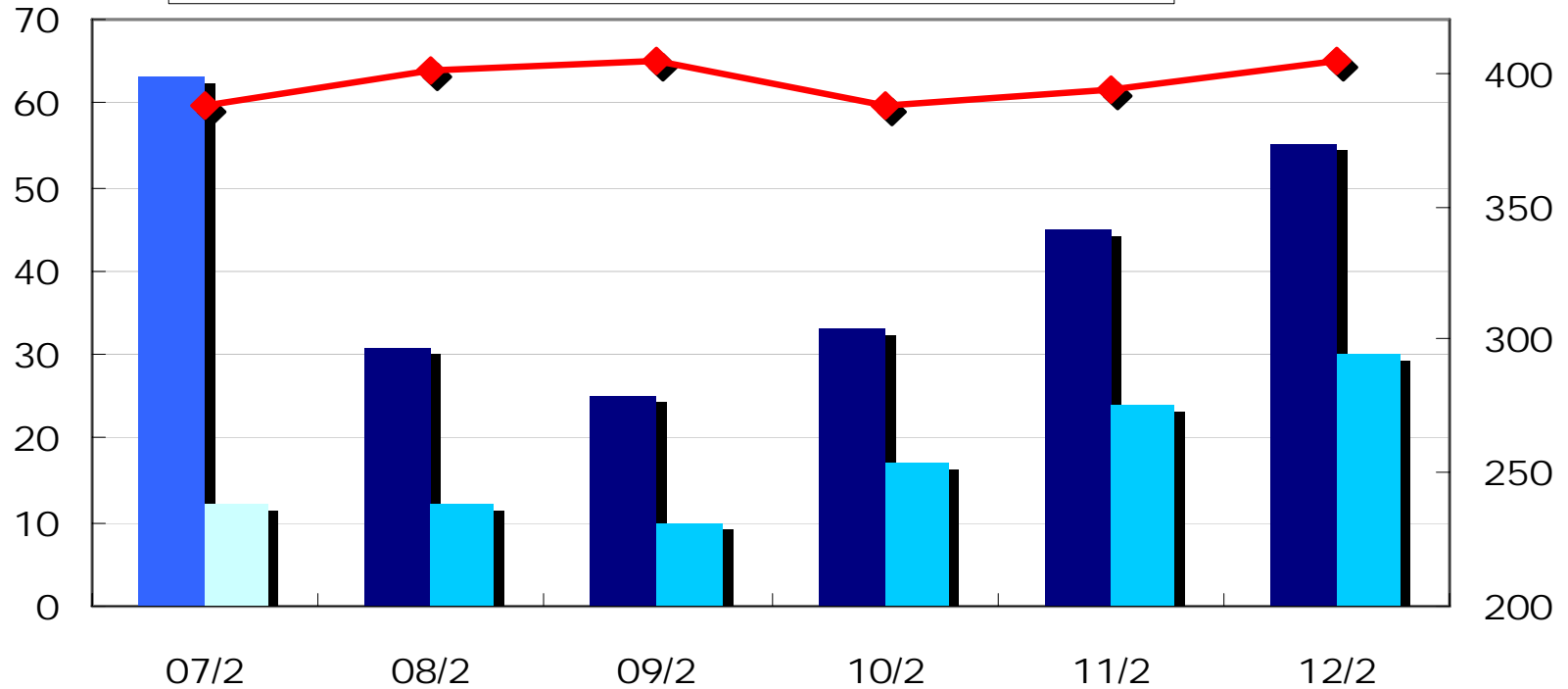
| | |
|------------|--|
| キャッシング残高 | ・総量規制等の影響による残高マイナス影響を、新型ローンの投入でオフセット⇒新型ローンで55億円の新規期末残高を計画。 |
| ショッピングリボ残高 | ・今期末180億円を計画。中間までの進捗から射程圏内。 |

中期収益見通し

単位:億円

■ 経常利益 ■ 当期純利益 ◆ 営業収益

単位:億円



単位:億円

| | 07/2 | 08/2 | 09/2 | 10/2 | 11/2 | 12/2 |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 営業収益 | 388 | 401 | 404 | 388 | 394 | 405 |
| 経常利益 | 63 | 31 | 25 | 33 | 45 | 55 |
| 当期純利益 | 12 | 12 | 10 | 17 | 24 | 30 |